

2024 年度 卒業生アンケート 集計結果について

■アンケートの調査目的

本学での生活や教育・研究等が社会に出でどのように役立っているかを把握し、
在学生の教育・研究及び進路支援に役立てる。

■実施期間

2025 年 2 月 1 日（土）～ 2025 年 2 月 28 日（金）

■調査対象

2024 年 3 月卒業 ～ 2018 年 3 月卒業
（情報デザイン学科）

■調査方法

ハガキ郵送・電子メールにて依頼し、Google フォームにて回答

■集計結果

回収数 94 名 回収率 13.3%（調査対象 708 名）

<アンケート項目>

Q1. 卒業年月 ※必須

☐ 2024年3月 or 9月卒業	☐ 2023年3月 or 9月卒業	☐ 2022年3月 or 9月卒業	☐ 2021年3月 or 9月卒業
☐ 2020年3月 or 9月卒業	☐ 2019年3月 or 9月卒業	☐ 2018年3月 or 9月卒業	☐ その他（自由記述）

Q2_1. 現在の職業についてお聞かせください（1つだけ選択） ※必須

☐ 会社員 （正社員）	☐ 会社員 （契約社員）	☐ 会社員 （派遣社員）	☐ 公務員 （正職員）	☐ 公務員 （嘱託職員）	☐ 自営業（家業・起業・ フリーランス）
☐ 専業主夫・婦	☐ 学生	☐ アルバイト・パート	☐ 無職	☐ その他	

Q2_2. 現在の勤務先は卒業時と変りましたか？（退職・転職などしましたか？）（1つだけ選択）※必須

☐ 卒業時と変わらない	☐ 転職した※	☐ 退職した（求職中）※
☐ 就職した（卒業後、無職 or 学生だったが、職に就いた）		☐ その他（自由記述）

Q3. 「会社員、公務員、自営業、アルバイト」の方へ 現在の勤務先名称をご記入ください。

Q4_1. ※「転職した方」「退職した方」へ。転職・退職の時期についてお聞かせください。（複数回答可。例：転職2回の場合は2つチェック）

☐ 1年目	☐ 2年目	☐ 3年目	☐ 4年目	☐ 5年目	☐ 6年目	☐ 7年目
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

Q4_2. 「転職した方」「退職した方」へ。転職・退職の理由についてお聞かせください。

※複数回転職されている場合は1回目の転職時についてお聞かせください。（複数回答可）

☐ 勤務地	☐ 給与	☐ 企業規模	☐ 仕事内容
☐ 企業の将来性	☐ 福利厚生	☐ 職場の雰囲気	☐ 休日休暇
☐ 専門知識・技術の習得	☐ 家族の事情	☐ UIターンをしたい	☐ その他

Q4_3. ※「転職した方」へ 現在働いている勤務先は何回目の転職先ですか？（一つを選択）

☐ 1回目	☐ 2回目	☐ 3回目	☐ 4回目	☐ 5回以上
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------------------------

Q5. 「会社員、公務員、自営業、アルバイト」の方へ 現在の仕事は、大学卒業時点での進路希望と合致していますか？（一つを選択）

☐ 合致している	☐ やや合致している	☐ あまり合致していない	☐ まったく合致していない
---------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

Q6. 「会社員、公務員、自営業、アルバイト」の方へ

大学で学んだ専門と、現在の仕事での業務内容は合致していますか？（一つを選択）

☐ 合致している	☐ やや合致している	☐ あまり合致していない	☐ まったく合致していない
---------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

Q7. 次の“7つの力”のうち、在学中に身についたと思うものをお聞かせください（複数回答可） ※必須

☐ 探求力＝好奇心をもって世界を観察し、知を求め発見することができる
☐ 思考力＝ものごとの関係性を見つけ、経験や知識をもとに考えることができる
☐ 発想・構想力＝独自のイメージを発想し、実現へ向けて計画することができる
☐ 表現力＝イメージやコンセプト、プランをさまざまな方法でかたちにすることができる
☐ 行動力＝みずから積極的、社会的に行動することができる
☐ 継続力＝目標に向かって、あきらめることなく続けることができる
☐ コミュニケーション力＝他者を知り協調し、よりよい関係を築くことができる

Q7_2. 上記7つの力以外に、在学中に身についた力があればご記入ください（自由記述）

Q8. 実社会においては、どの“力”が求められていると思いますか？（複数回答可）

☐ 探求力＝好奇心をもって世界を観察し、知を求め発見することができる
☐ 思考力＝ものごとの関係性を見つけ、経験や知識をもとに考えることができる
☐ 発想・構想力＝独自のイメージを発想し、実現へ向けて計画することができる
☐ 表現力＝イメージやコンセプト、プランをさまざまな方法でかたちにすることができる
☐ 行動力＝みずから積極的、社会的に行動することができる
☐ 継続力＝目標に向かって、あきらめることなく続けることができる
☐ コミュニケーション力＝他者を知り協調し、よりよい関係を築くことができる

Q8_2. 上記7つの力以外に、実社会で求められる力があればご記入ください（自由記述）

Q9. 卒業後、取得された資格や修得したスキルはありますか？またその資格・スキルは卒業後何年目に取得されましたか？（記入例・・・建築士2級／卒業後3年目に取得）

Q10. 卒業後、仕事や生活のうえで、「大学時代に身につけておけばよかったこと」「大学で提供してもらった授業やプロジェクトなど」がありましたらご記入ください。（自由記述）

Q11. 今、大学生活を振り返ってみて、本学に対する総合的な満足度はどの程度ですか？ ※必須

*その他を選択する際は、具体的にご記入ください。

☐ とても満足している	☐ やや満足している	☐ あまり満足していない	☐ 満足していない	☐ その他
------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------	------------------------------

Q12. あなたの家族や親族の進路先として、本学を勧めたいと思いますか？ ※必須

*その他を選択する際は、具体的にご記入ください。

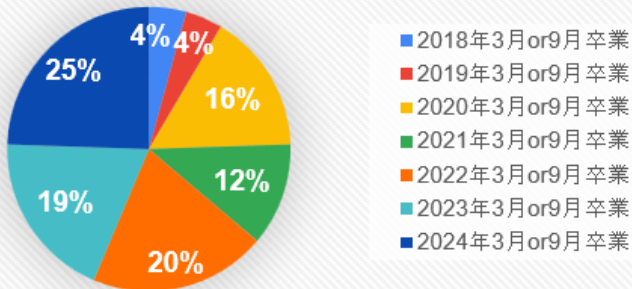
☐ 勧めたい	☐ やや勧めたい	☐ あまり勧めない	☐ 勧めない	☐ その他
-------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	------------------------------

その他質問項目 … 氏名／卒業学科（必須）／卒業コース（必須）／学籍番号

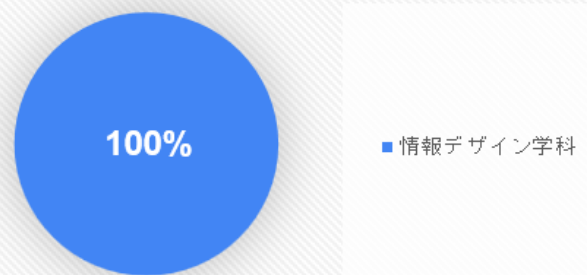
<アンケート結果（94 名回答）>

情報デザイン学科 94 名

Q1.卒業年

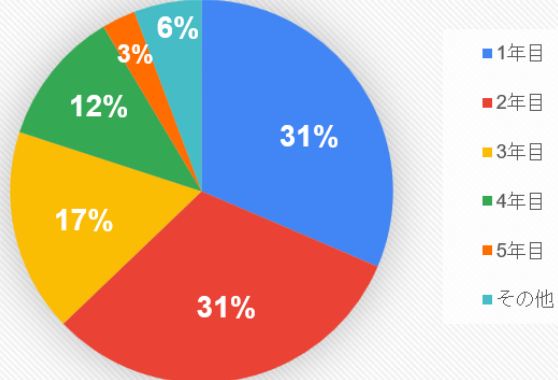


卒業した学科

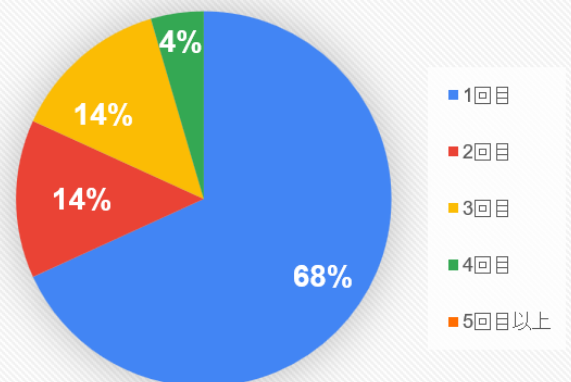


Q4_1.何年目に転職・退職したか？

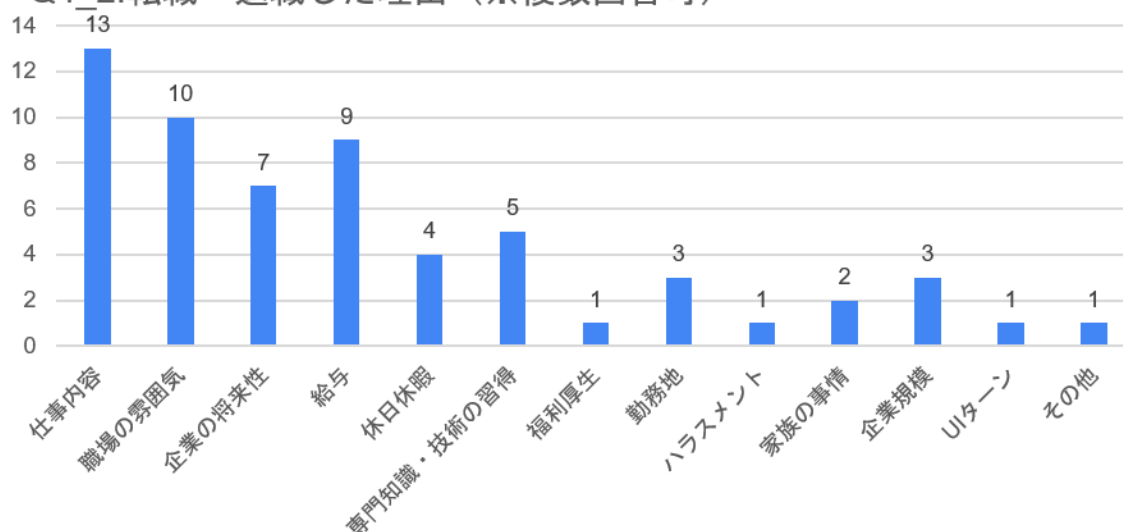
（転職・退職した人のみ回答）



Q4_3.現在の職場は何回目の転職先か？

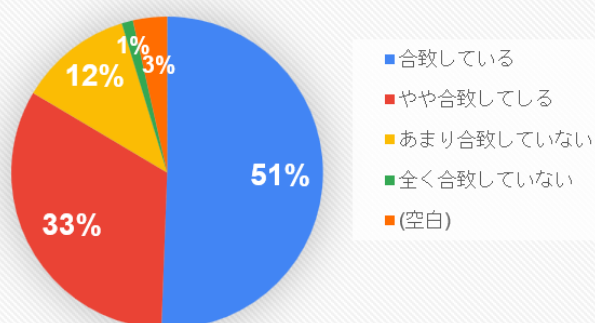


Q4_2.転職・退職した理由（※複数回答可）

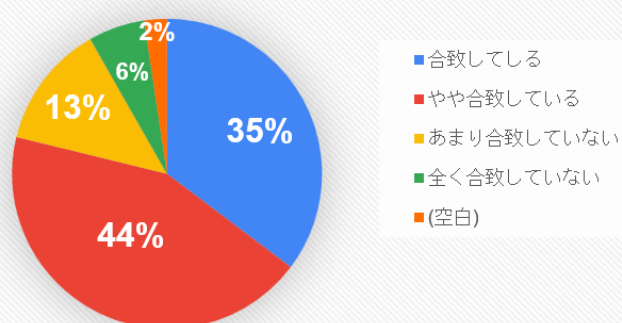


Q5・Q6 は会社員・公務員・自営業・アルバイトの方への質問（対象：99 名）

Q5.現在の仕事は、大学卒業時点での進路希望と合致しているか？

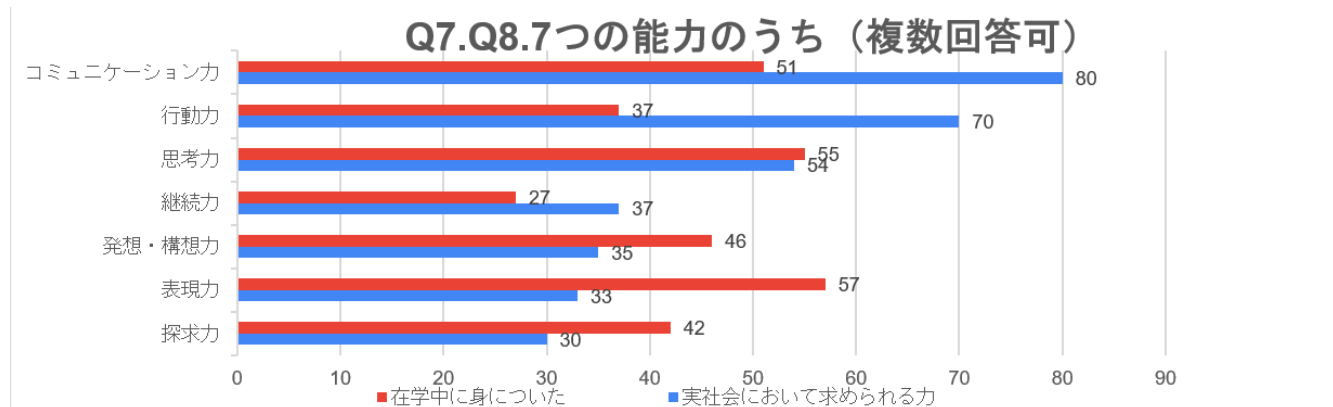


Q6.大学で学んだ専門と、現在の業務内容は合致しているか？



Q7. 次の“7つの力”のうち、在学中に身についたと思うものをお聞かせください ※必須

Q8. 実社会においては、どの“力”が求められていると思いますか？



Q7_2. 上記7つの力以外に、在学中に身についた力があればご記入ください（自由記述）

※一部抜粋

積極性/周りの人を大切にする心/じっとして制作する体力/人に助けを求めること/スケジュール管理力/コネクションと頼れる仲間と師/プレゼン力(大勢の前で話す力)/体力/デザインツールのスキル/芸術大学は特に、自分の個性や得意を伸ばす機関だと思っていたが、本学は意外と社会に近く、自分の独自の感性や視点を「どう社会の平均的な共感度まで落とし込んで伝えることができるか」という課題が常にあるような環境に感じた。だからこそ挫折を感じ伸び悩み大学時代を少し勿体無く過ごす人も出てくる反面、社会と自分との距離を把握し、新しいやり口を見つける能力が身についた人もいるように思えた。/キャリア形成に向き合う姿勢 など

Q8_2. 上記7つの力以外に、実社会で求められる力があればご記入ください（自由記述）

※一部抜粋

ストレス発散力/忍耐力/体力(4名)/愛嬌/議論を発展させる力/仕事内容、方法、職場のルールなどはちゃんとできるようにする/分析力、マーケティング知識/ストレスコントロール力、規律性、傾聴力、主体性/忍耐力もしくはストレス解消の術/物怖じしない、失敗を恐れない、自分の意見を持ち発信する/生活力/言葉遣いや一般常識や社会人マナーなど、社会の中で上手くやっていく知識や力/素直さ、精神力。自分が制作したものを大幅にひっくり返されることもある、へこたれなさというか、精神力はあった方がいい。/リアクション力/正しくお金を使う力/ストレス耐性/調整力/思考力と構想力に続きますが、一見実現不可能と思われることを別角度から考えて、実現の道を見つけ出せる(創り出せる)柔軟力/自己管理能力 など

Q9. 卒業後、取得された資格や修得したスキルはありますか？またその資格・スキルは卒業後何年目に取得されましたか？

※一部抜粋

海洋生物の知識(卒業後1年)/Photoshop クリエイター能力検定(卒業後1年)/色彩検定3級(各3名、卒業後3年・1年・不明)/IT パスポート(各2名、卒業後1年)/色彩検定2級(各2名、卒業後1年)/FP プランナー2級(不明)/ウェブクリエイター能力技能検定(不明)/エキスパート級(不明)/ウェブデザイン検定(不明)/spine(不明)/Web ディレクション検定(卒業後1年)/セール

ススキル検定 3 級(卒業後 1 年)/ネイリスト検定 2 級(卒業後 4 年)/FP3 級(不明)/ など

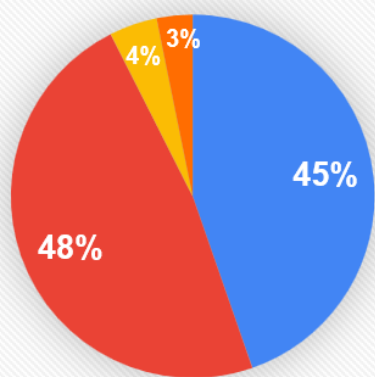
Q10. 卒業後、仕事や生活のうえで、「大学時代に身につけておけばよかったこと」「大学で提供してもらいたかった授業やプロジェクトなど」がありましたらご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

学科で習ったことは今でもめっちゃ糧になっています！でも、他の学科に行ってみて情報収集したりと、もっと行動出来ることはあったなと思います！/お金の知識、ビジネスマナー、マーケティング/情デは特に web デザインなどを必修授業としてあればよかったなと思いました。/自分が今 Web 広告ライターのようなものなので、文章力と文章の構成・校正力を身につけられる授業を受けられたらよかったなと思いました。課題発表時の話す内容・他者へのコメント力にもなると思います。/色彩能力など、デザイナーになるための最低限の基礎能力/教員免許を取ればよかった/UI デザインの授業/web 広告、LP やバナーデザインについての勉強/お仕事をしているとどうしても他者とのコミュニケーションは必要になるので、コミュニケーション能力を身につけることに特化した授業などがあればよりよい学生生活になったかなと、振り返って思います。イラストレーションコースではグループワークの経験が少なかったのもう少し機会があれば良いのではと思います！/web に関する授業が薄い、フリーランスになった時に知っておかなければならないことを知りたかった/留学についての説明を最初のうちに聞いておきたかった。/学芸員資格を取ればよかった(芸大卒で堅い仕事に着こうと思ったら学芸員が一番納得感があると思うので)。1 年生の時から就職を見据えて、今しか取れない資格だということをアピールして欲しかった。/コストのことを考えれば、興味のあった学芸員資格を取っておくか、取る努力をもう少し継続しても良かった。しかし、選択しない事で新しい事に挑戦できる場合もあるので、悔いはない。/広告業に行くと、制作知識(ソフトの使い方や印刷の知識)以外にマーケティング知識も求められるかと業務を通じて思いましたため、マーケティング周りの授業があってもいいかと思います。/zine をあと 2 回くらいつくってみたかった！当時はしっかり取り組めてなかったと思い出してすごく反省/英語力/このポスターでやってるこの表現はどうアプリを使えばできるかを聞くこと/授業から想像する広告代理店の印象と実際の広告代理店とは大きな相違があった(授業=何を伝えたいかを考え、自分の好きなようにデザインする。実際=マーケティングプランに基づきターゲット・ニーズを理解、競合調査をした上で訴求軸を考察しデザインへ落とし込む)広告に関する一連の流れを実際に体験・知れたら良かった。/Excel/正社員以外の道を知ること/社会人の方と関わりながら、リアルな社会勉強をする授業/デザインに関する法律関係の知識/マーケティングや分析力、経済知識含め、ロジカルな思考力が欠けていたので周りの大学との差が目立った。営業部署はとても体育会系で普通のデザイナーでは耐えれないので希望者のみ強靱なメンタルも鍛えることができれば尚良かった。/IT 関係の資格を取っておけばよかった。/広告のデザインを、グラフィックで落とし込む所に留まらず、その後の商品やプロジェクトの具体的な方針等、授業の一環で多く取り入れて欲しかった。/UIUX 系の授業が在籍中は少なかったのもっと多く授業を受けてみたかった/様々なことを教えることに時間を割きすぎて、悪い意味でオールラウンダーを育てすぎ。/少しズレますが選択授業の幅がとても広かったため、自分の得意分野を伸ばすことをせず気になるもの全てに手を付けてしまったので武器となるものがなかったことが後悔ではあります/先生ともっとコミュニケーション取っていればよかった。エンタメとはなにか/エクセルの使い方、広告出稿、広告の種類についてなど/もっと他人と関わる授業を積極的に受ければよかった/Excel など基礎的なパソコンスキルや社会常識、言語化能力、勉強の習慣などを身につけておけばよかった。/プランナーになるための数字の分析やリサーチ方法。少ないお金でできる投資方法。お金面全体。ライターと一緒にコンペの機会。/プロジェクトマッピングの基礎知識を学べるような授業があればと思いました。/Web に関する授業、マーケティングに関する内容は結構多かったが、それをどう使うか、みたいなものをちゃんと受けておけばよかった。/デザインや写真等の技術的なノウハウについて学べる授業をもっと受講しておけば良かったと思いました。/大学の施設(図書館や工房)をもっと利用しておけばよかった/映像表現について、技術面だけでなく、表現

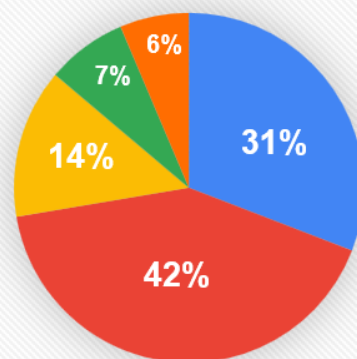
の発想についても勉強しておいたら良かったです/YouTube とビットコイン/プロジェクトの参加とインターン/お金のこと。確定申告の授業があったら嬉しかった。/最近は何の企業・個人でも SNS を使っているので集客や発信の知識も知りたかった。/TOEIC を在学中に受けるべきだった。/企画もデザインもいろんなことをやらせてくれるカリキュラムには、大変学びの多かった反面、なんでもできちゃう人になりがち、、、信念貫くみたいな気持ちは薄れてしまっていて、配属希望の際に困ってしまったことがあったので、先生からのフィードバックがあればと思った。あなたはこれに向いてるかもみたいな。側から見たらどう見えているんだろうと、思っていたので。/Adobe などのクリエイティブソフトを使えるに越したことはないが、会社がクリエイティブソフトを個人に与えられる金銭的余裕が無いとそもそも使える機会が無いため、Excel(Google スプレッドシート)や Word(Google ドキュメント)やパワーポイント(Google スライド)を使えるスキルが高かったら仕事に役立つと思った。権利(肖像権、意匠権など)や法律(下請法、ステマ)の知識をもっと現代事例を参考に、想像がつく形で学びたかった。保険、財形、積立、個人年金、年末調整、人によっては確定申告など金銭面のやりくりや手続きを知っておきたかった。/Web 系の知識、コードの書き方とか/フリーランス、独立についての周辺知識/3DCG や UIUX など、イラスト以外の知識を深めておけばよかった/自動車免許取得/デザイン思考 など

Q11.今、大学生生活を振り返って、
本学に対する総合的な満足度は？



■とても満足している ■やや満足してる
■あまり満足していない ■満足していない
■その他

Q12.家族や親族の進路先として、
本学を勧めたいですか？



■勧めたい ■やや勧めたい
■あまり勧めない ■勧めない
■その他

Q12.「その他」の回答

※一部抜粋

- ・自ら勧める事はしないが、とめはしない。
- ・ねぶたで階段が大変、ですがおすすめしたいです♪
- ・その人の進みたい道による。これがしたいがあれば良いと思う。
- ・本人が行きたいという意思があるならば尊重したい大学です。
- ・目的が合うのなら勧めたい
- ・研究機関と、施設設備と、客員教授やプロジェクトの豊かさがあるため、すごくいい場所だったなと思いました。またキャ

リアサポートも手厚く、日頃の課題も社会的な視点からフィードバックを頂けるためとても勉強になりました。ただ、教える人が違えば環境も変わるため仕方のないことなのですが、自分の代の教授はカリキュラムの目標通りの成果に持っていく方針で指導されていた方が多かったため、半数弱くらいは違う方向で指導して下さる教員がいるとバランスが良いのかなと思いました。課題を咀嚼して狙ったところで成果を出す能力ももちろん大事なのですが、技術の進歩だけでなく人々の価値観など近年色々な変化が目まぐるしいなかで、成功パターンに習うよりも、前例のない自分独自の考え方や切り抜け方をどうやって社会に落とし込めるかというところを探求する期間も充分にあるとよかったと感じます。その機会も用意されていたのですが、一見可能性がないように思えると別案を提案して下さる先生が多かったため、そうではなくて、現時点では可能性がないように思えるものから、どうやって新しい可能性の道を自力で築き上げていくかの術を教えていただけたら、より有り難かったかなと恐縮ながら思った次第です。みなさん忙しいので業務の効率を重視し、カリキュラムや時間に則って動いてしまいましたが、そうではない非効率な先生もいると違った学びを得られることで社会で強く生きていけるのではと感じました。

以上